

主要事業評価シート(第2次実施計画/R1・2・3年度)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	健康福祉部
	17053	障がい者(児)タクシー料金助成事業	課名	地域福祉課 障がい者支援G
	施策の大綱	02:健康で生きがいを持てる暮らしの充実	財務科 項目	01:一般会計
	基本施策	04:障がい者の自立と社会参加の促進		03:民生費
	施策の方向	01:障がい者の自立支援		01:社会福祉費
戦略プロジェクト	-	02:障がい者福祉費		
事業予定期間	H 19 ~ R - 年度	主な根拠法令要綱等	亀山市タクシー料金助成事業実施要綱	

② 目的・概要	対象	身体障害者手帳1・2級、療育手帳A・A2、精神障害者保健福祉手帳1.2級の所持者
	目的	重度の障がい者や障がい児がタクシーを利用する場合に、その料金の一部を助成することにより、障がい者(児)の外出の支援を行い、社会活動の促進を図る。
概要		道路運送法の許可を受け、市の区域を営業区域としている一般旅客自動車運送事業者と、この事業に協力してもらったための契約を行い、自動車税、軽自動車税の減免や燃料購入費用の助成を受けていない重度の障がい者(児)がその事業者の運行するタクシーを利用する場合に、料金の一部を助成する。

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	○タクシー料金助成 対象者①: 助成額 15,000円 身体障害者手帳1級(じん臓機能障害以外)、2級所持者、療育手帳A1・A2所持者、精神障害者保健福祉手帳1級・2級所持者 対象者②: 助成額 45,000円 身体障害者手帳1級(じん臓機能障害)	○タクシー料金助成 対象者①: 助成額 15,000円 身体障害者手帳1級(じん臓機能障害以外)、2級所持者、療育手帳A1・A2所持者、精神障害者保健福祉手帳1級・2級所持者 対象者②: 助成額 45,000円 身体障害者手帳1級(じん臓機能障害)	○タクシー料金助成 対象者①: 助成額 15,000円 身体障害者手帳1級(じん臓機能障害以外)、2級所持者、療育手帳A1・A2所持者、精神障害者保健福祉手帳1級・2級所持者 対象者②: 助成額 45,000円 身体障害者手帳1級(じん臓機能障害)	
	年度実績	対象者①: 助成額15,000円 対象者1,023人 交付者294人 対象者②: 助成額45,000円 対象者143人 交付者36人	対象者①: 助成額15,000円 対象者1,029人、交付者252人 対象者②: 助成額45,000円 対象者137人、交付者36人	対象者①: 助成額15,000円 対象者1,034人、交付者241人 対象者②: 助成額45,000円 対象者137人、交付者34人	
事業の計画・実績	計画額	事業費	4,800千円	5,200千円	5,700千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	予算額	事業費	4,800千円	5,200千円	5,700千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
決算額	事業費 ①	3,269千円	3,400千円	2,500千円	
	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
人件費	事業費 ①	2,842千円	2,345千円	2,232千円	
	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
人件費	総人件費 ②	628千円	627千円	632千円	
	一般職員	628千円	627千円	632千円	
	所要人員	0.08	0.08	0.08	
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円	
	総コスト(①+②)	3,470千円	2,972千円	2,864千円	
受益者負担率	0.0%	0.0%	0.0%		

			令和元年度	令和2年度	令和3年度	
①	名称 交付人数 対象者①(じん臓機能障害以外)の交付人数 対象者②(じん臓機能障害者)の交付人数	活動	計画値	①406②58	①439②63	①473②69
			実績値	①294②36	①252②36	①241②34
			単位	人	人	人
②	名称 交付率 交付人数 / 対象人数	活動	計画値	①31②34	①32②35	①33②36
			実績値	①29②25	①24②26	①23②24
			単位	%	%	%
③	名称 利用率 利用金額 / 交付金額	成果	計画値	①52②53	①53②54	①54②55
			実績値	①45②49	①40②46	①41②45
			単位	%	%	%

⑤ 事業の改善	【前回評価の対応方針の概要を記入】 第2次障がい者福祉計画の見直しにあたりアンケート調査を実施し、移動手段や社会参加に向けた障がい者の意向を把握し、対象者等改善すべき点があるか検討する。
	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 第2次障がい者福祉計画に係る障がい者(児)へのアンケート項目の「暮らしやすくなるために特に望むこと」に対して、「外出しやすい環境や交通機関の利便」が22.6%と高い割合であったことから、タクシー料金の助成による外出や移動の支援は、障がい者の自立を支えるために必要なサービスの一つであると位置付けた。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 タクシー料金助成事業の申請に対し適正に乗車券の交付を行い、協力事業者の運行により、事業展開した。本事業については、地域自立支援協議会等における第2次亀山市障がい者福祉計画の見直し作業の中で、自立生活のための環境整備の中で現状と課題を整理した。	B まずまず実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 コロナウイルス感染拡大による外出控え等の影響で、タクシー券の交付率・利用率とも減少しているものの、人工透析患者の通院などに需要があり、身近で必要度の高い移動手段として利用された。	B まずまず成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 福祉移送サービス等、タクシー料金助成事業以外の移動支援を含め、それぞれ対象者のニーズに合った支援ができていないのか。また、コロナ禍における障がい者の移動・外出をどのように支援していくべきか。	次期実施計画への方向性 <input type="checkbox"/> 継続 (拡大) <input type="checkbox"/> 継続 (現状維持) <input type="checkbox"/> 継続 (縮小) <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】標準事業として実施する。
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 個々の障がいの程度、利用目的等に応じ、乗合タクシー事業(のりかめさん)や福祉移送サービス(花しょうぶ号)といった他のサービスとの組み合わせにより対象者のニーズに合った支援を提供することで、障がい者の移動支援全体のボトムアップを図っていくとともに、コロナ禍における障がい者の移動・外出支援策について検討していく。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 障がい者の社会参加の促進につなげることができる。	
対応時期		令和4年度	

【1次評価者】	健康福祉部 地域福祉課 障がい者支援グループリーダー 村主 健太郎
【最終評価者】	健康福祉部 地域福祉課長 麻生 俊哉

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	A	B	A	A	B
	成果	A	B	B	B	B

■令和3年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		2,500 千円
内訳	令和2年度からの繰越額	千円
	令和3年度の最終予算額	2,500 千円
	令和4年度への繰越額	千円